

# 第 3 2 回

## 2 0 2 4 びわこペーロン DRAGON BOAT RACE IN BIWAKO

### 大会要領

主催 びわこペーロン実行委員会  
びわ湖放送  
主管 滋賀県ドラゴンボート協会

## はじめに

ペーロン競漕は、滋賀県と友好関係にある中国の湖南省が発祥の地とされています。中国・戦国時代、楚国の名宰屈原は愛する国の暗黒政治を嘆き、汨羅江に身を投じました。屈原を慕う漁民達が、三日三晩遺体を捜し回ったが、必死の捜索も空しく遺体を見付けることが出来なかったということです。

それ以来旧暦5月5日に屈原を偲び竜舟競漕が行われるようになりました。

日本では、江戸時代初期、長崎港を訪れた中国船が嵐に遭い、船員が海神に波風を鎮めてもらおうと手漕ぎ舟競漕をした事が始まりとされ、兵庫県の相生市や沖縄で年中行事として行われています。そして1991年にびわこペーロン大会が大津で初開催されたことをはじめ、イベントやスポーツ種目ドラゴンボート競技として全国に広がっています。

びわこペーロンは発祥の地・湖南省と友好関係にある滋賀県で、日本一の琵琶湖を舞台に白熱のレースが繰り広げられる夏の風物詩となっています。

そして、このペーロン競漕を通して、

- 1) 琵琶湖の水を守る心を育む
- 2) 地域の連帯と協力を深めるコミュニティづくり
- 3) いきいきと活躍できる心と体の健康づくり
- 4) 国際親善交流への寄与
- 5) 県内および他府県からの観光誘致

などに貢献することを私たちは、主たる目的としています。

今年で34年目・第32回大会となります。

※2020年・2021年は新型コロナの影響で開催自粛

- 催 事 名 2024びわこペーロン～美しい琵琶湖を未来に～
- 期 日 2024年8月31日(土)
- 【午前の部】8:00～12:00  
20人漕ぎオープン、10人漕ぎレクリエーション、10人漕ぎ混合
- 【午後の部】13:00～17:00  
10人漕ぎオープン、10人漕ぎ女子、20人漕ぎレクリエーション
- 会 場 関西みらいローイングセンター(県立琵琶湖漕艇場)大津市玉野浦6-1
- 主 催 びわこペーロン実行委員会、BBCびわ湖放送
- 主 管 滋賀県ドラゴンボート協会
- 後 援 滋賀県・滋賀県教育委員会・大津市スポーツ協会・滋賀県国際協会・  
びわこビジターズビューロー・大津市・大津市教育委員会・  
朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・産経新聞社・中日新聞社・京都新聞社・  
日本経済新聞社・共同通信社・時事通信社・FM滋賀・NHK大津・京都放送
- 協 力 滋賀県ボート協会・滋賀県カヌー協会・滋賀県漁業協同組合連合会・  
瀬田町漁業協同組合・東近江市・JCHO滋賀病院
- 参加内容 <20人漕ぎ> ・オープンの部(16) ・レクリエーションの部(8)  
<10人漕ぎ> ・オープンの部(16) ・レクリエーションの部(8)  
・混合の部(4) ・女子の部(4) ※()は募集チーム数
- 【オープン】 トーナメントにより順位を競う。男女問わず。
- 【レクリエーション】 初参加向け。びわ湖に親しみ完走を目指す。男女問わず。
- 【10人漕ぎ混合】 漕手が男女それぞれ4人以上。
- 【10人漕ぎ女子】 漕手が全員女子。

滋賀県民スポーツ大会をびわこペーロン大会と並行して実施します。  
対象は、乗船者全員が滋賀県内に在住・在勤・在学または滋賀県出身者で、  
10人漕ぎオープン・混合・女子の部に参加するチームです。  
対象チームの第1レースのタイムにより、上位3チームを表彰します。

- 競技内容 オープンの部は着順によるトーナメント方式(2回～4回出走)  
混合・女子・レクリエーションの部はタイムレース方式(2回計測)
- コース 直線ワンウェイ300m 5コース設置

○チーム構成 <20人漕ぎ>  
漕手20名 太鼓手1名 舵手1名  
監督1名（漕手/太鼓手/舵手を兼ねても可） 計23名（22名）

<10人漕ぎ>  
漕手10名 太鼓手1名 舵手1名  
監督1名（漕手/太鼓手/舵手を兼ねても可） 計13名（12名）

※レクリエーションの部の舵手は大会から派遣とする。

※ダブルエントリーは認めるがレーススケジュールは考慮しない。

○選手資格 16歳以上で健康かつ泳力に自信のある者。（2024年1月時点）  
13歳以上15歳以下についても下記条件に限り参加を認める。  
<10人漕ぎ>漕ぎ手2名・太鼓1名の計3名まで  
<20人漕ぎ>漕ぎ手4名・太鼓1名の計5名まで

○使用艇 実行委員会が用意したペーロン艇・太鼓を使用する。

○組合わせ 実行委員会で厳正に抽選し、8月22日（木）に開催する監督会議で発表。

○表彰 各部上位3チームを入賞とし、各賞に表彰状、カップ、記念品を授与。  
レクリエーションの部はタイム上位のほか特別賞や飛び賞あり。

○参加料 20人漕ぎ各部：1チーム70,000円（税込）  
10人漕ぎ各部：1チーム40,000円（税込）

○申込方法 参加申込書兼誓約書に必要事項を記入の上、  
びわこペーロン実行委員会へメール（pr@bbc-tv.co.jp）または  
郵送（〒520-8585 大津市鶴の里16-1）またはFAX（077-524-0167）で申し込み。  
申込締め切り：2024年8月7日（水）

○中止判断 レースに問題のない程度の雨天は開催。  
暴風雨など荒天により開催が困難な場合は主催者判断で中止する。  
なお、大会を中止した場合も参加料は返金しない。

○警備及び救護 大津警察署と協議の上、会場周辺に警備員を配置。  
湖上に関しては、警備艇1艇、監視（救助）艇3艇、報道艇1艇、  
合計5艇のモーターボートを配置。医師1名看護師1名待機。  
JCHO滋賀病院に事故に備えて受け入れ体制を依頼。  
スポーツ傷害保険に主催者側が加入。

## ○レースについての諸注意

- ① **出場レースの30分前**にはフローティングジャケットを着用し全員そろって招集場所に集合すること。 ※毎年、招集時間に遅れるチームがありますので注意してください。
- ② チーム全体が、レース開始時間に遅れた場合は、出場辞退とみなします。また、定員数に満たない状態でもレースを開始します。(舵手・太鼓手の欠場は認めません)
- ③ レーン番号・乗降口・艇の番号は固定されています。  
(例：1レーンのチームは1番の乗降台から1号艇に乗り、レース後1番の乗降台へ向かう)
- ④ スタート地点へは速やかに向かってください。スタートへ向かうチームは**太鼓を鳴らさず岸側**を通過して、レースの邪魔にならないようにしてください。
- ⑤ スタートは、各チーム紹介後「**ドラ音・アーユレディー・アテンション・ゴー!**」のスターターの声で合図します。
- ⑥ レース中、自チームコースを外れ、他コースに侵入した場合は、必ず艇を止め他艇の妨害にならないようにしてください。妨害した艇は、失格とします。各チーム自チームコースの中央を維持・進行してください。
- ⑦ レース終了後は速やかに乗降場所に戻ってください。後続のレース艇に注意してください。
- ⑧ 監督は競漕規則を把握し、その内容を周知徹底してください。
- ⑨ 参加者全員スポーツマンシップをもって、大会に臨んでください。
- ⑩ **飛び込みは禁止**します。罰則として最下位処分にします。

## ○その他

- ① びわこペーロン大会運営委員長が、大会運営上大会の総合責任者として、天候の急変など緊急を要する場合に現場判断をし、競技の進行指示を通達します。
- ② パドル・フローティングジャケット・バチは、実行委員会で準備します。  
国際ドラゴンボート連盟の規格に沿ったマイパドル・マイフローティングジャケット・マイバチの持ち込みは認めます。
- ③ ユニフォームは自由ですが、出来る限りチームで統一してください。  
スポーツに適した服装(Tシャツ等)を着用してください。
- ④ 乗降場所や水上では必ずフローティングジャケットを着用ください。
- ⑤ 乗艇の際には裸足、もしくはウォーターシューズ(マリンシューズ)を着用ください。  
脱げやすいサンダル等は不可です。
- ⑥ 艇内への座布団・敷物の持ち込みを認めます。
- ⑦ 手袋の着用を認めます。
- ⑧ 健康状態には、十分留意してください。
- ⑨ ケガ等の応急処置はしますが、その後の責めは負いません。
- ⑩ 広告物については、必ず、実行委員会の許可を得てください。
- ⑪ 会場内への**酒類の持ち込み並びに飲酒は、厳禁**とします。  
飲酒が認められたチームは、失格とし、以後のレース出場を禁止します。
- ⑫ 参加チームの待機場所として各チームにテントを割り当てます。観戦エリアへのテント持込は大会運営に支障をきたさない範囲で認めます。
- ⑬ 大会の駐車場には各チームに認められた台数のみ駐車可能です。詳しくは監督会議でお伝えします。
- ⑭ ゴミが発生したら、各チームでお持ち帰りください。